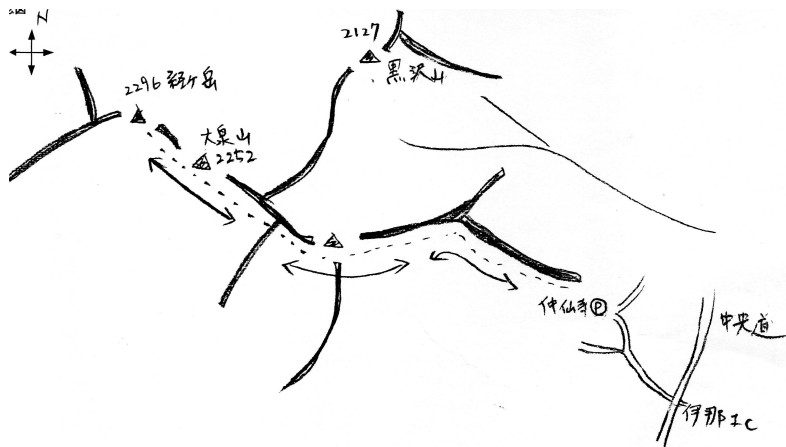


# 経ヶ岳

雪山のお勉強

2018 年 3 月 18 日

L: 齋藤



## アクセス

中央道伊那 IC 下車。西に向かうと仲仙寺への案内看板あり。仲仙寺付近に駐車場とトイレあり。

3 月 18 日 (日)

6:30 頃

仲仙寺を出発。まさか山頂まで雪無しなのでは？と心配になる。



山門を右手に行くと登山道がある。

8:30 頃

5 合目着。やっと雪が出てきた。冬靴で無雪の登りはつらいだけなので、何度も引き返したくなった。



少しですが雪がでてきました。

10:45 頃

8 合目手前。



やっと雪山らしくなってきました



雪庇高 2~3m くらいあるでしょうか？

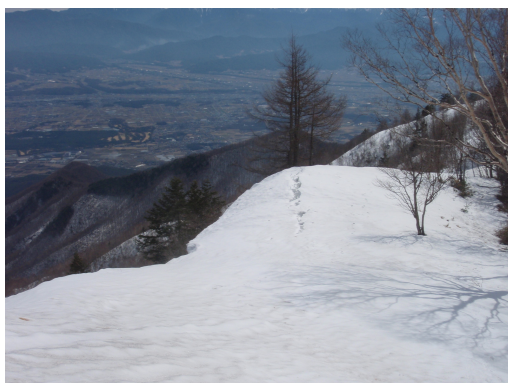
大きな亀裂が入っている雪庇もあった。

10:50 頃

8 合目着



遠くに御岳が見えました。すてきっ。



こうやって雪塊は崩壊していくんですね

11:00 頃

雪庇地帯に遭遇。なるべく尾根側に寄って、こっそりと通らせてもらった。

60m ほど高度を上げ、振り返って再度雪庇地帯を眺めてみる。稜線上の鞍部は、両サイドの山と比べて風が強く抜けるはず。だから雪庇が形成されやすいのかな？



まったり考察。写真中央に亀裂の入った雪庇

11:50 頃

9 合目着。先を見渡すと 300m ほど向こうに 2252m の大泉山が見える。あの山を越えて、さらに西へ 1km くらい歩いたら山頂か。地形図で見ると、今までよりは緩やかな尾根となるけれど、このペースから考えると、山頂着は 13 時半くらいであろう。鞍部があと 2 回あるので、想定外の時間食いがあるかもしれない。

ということで、この地点で引き返すことにした。時間に追われて下山するのは事故のもと。昨年 9 月の烏帽子岳はちょっとした怪我だったけれど、よい勉強になっている。

下山を開始し、9 合目東側の 2191m で先ほどの雪庇を眺めながらカップラーメン。バーナー湯ではなく、テルモス湯なので、あまり熱くはないが、やっぱり山での食事はいい。



四等三角点をラーメン置きに使ってしまいました。ごめんなさい。

14:40 頃

仲仙寺着。



ここまでの単調な下り道が一番疲れました

<タイム>

仲仙寺 P(6:30)-4 合目(7:58)-5 合目(8:33)-7 合目(9:41)-8 合目(10:49)-9 合目折り返し(11:47)- 仲仙寺 P(14:40)

(齋藤 記)